

# 令和3年第2回総務文教常任委員会 要点記録

開閉会日時	令和3年2月25日(火曜日)			開会	9:58	会議場所	別海町議会 委員会室2・3		
				閉会	11:30				
委員の出欠	3 番	田村 秀男	出席	5 番	外山 浩司	出席	8 番	松壽 孝雄	出席
	13 番	中村 忠士	出席	15 番	戸田 憲悦	欠席			
出席説明員	総務部	総務部長		総務部次長兼総務課長		総合政策課長		財政課長	
		浦山 吉人	出席	佐々木栄典	出席	三戸 俊人	欠席	寺尾真太郎	欠席
		税務課長		防災交通課長		西春別支所長		尾岱沼支所長	
		伊藤 輝幸	欠席	麻郷地 聡	欠席	田村 康行	出席	福原 義人	欠席
		総務課主幹		総務課主幹		総合政策課主幹		財政課主幹	
		齋藤 陽	欠席	山田 哲哉	欠席	皆川 学	欠席	角川 具哉	欠席
		税務課主幹		防災交通課主幹		総務課主査		総合政策課主査	
		松田 勝広	欠席	深川 淳一	欠席	池田 大海	欠席	大森 圭介	欠席
		財政課主査		税務課主査		防災交通課主査		防災交通課主査	
		佐藤 貴也	欠席	高橋 克彦	欠席	相馬 儀彰	欠席	武田 聖士	欠席
	西春別支所主査								
	門間 勝司	欠席							
	選挙管理委員会	書記長		書記					
		佐々木栄典	出席	池田 大海	欠席				
	出納室	会計管理者		出納室長					
		阿部 美幸	欠席	佐々木いづみ	欠席				
	監査委員事務局	監査委員事務局長							
		小林 由治	欠席						
	別海消防署	別海消防署長		別海消防署副署長		別海消防署副署長兼警防課長			
		山田 勝人	欠席	山桑 貴光	欠席	西塚 隆幸	欠席		
教育委員会	教育部長		生涯学習センター建設準備室長		教育部次長兼生涯学習課長他		指導主幹		
	山田 一志	出席	山岸 英一	欠席	石川 誠	出席	住吉 幹城	欠席	
	指導参事		学務課長兼学校給食センター長		学校教育課長		中央公民館長		
	根本 涉	欠席	宮本 栄一	出席	入倉 伸顕	出席	内山 宏	欠席	
	西公民館長		東公民館長		図書館長・郷土資料館長他		学校教育課主幹		
	田村 康行	出席	福原 義人	欠席	新堀 光行	出席	池田 卓也	欠席	
	生涯学習課主幹		中央公民館副館長		西公民館副館長		東公民館副館長		
	戸田 博史	欠席	小村 茂	欠席	木戸口 誠	欠席	立澤 雅彦	欠席	
	図書館主幹		郷土資料館主幹		学務課主査		学務課主査他		
	堺 啓	欠席	石渡 一人	欠席	佐藤 亮	出席	大山 晋作	欠席	
学校教育課主査		生涯学習課主査		生涯学習課主査他		学校給食センター主査			
高津 寛人	欠席	恒川 敦史	欠席	上杉 大洋	欠席	成瀬 広子	欠席		
委員外の出席							傍聴者	0名	
事務局職員	事務局長	小島 実	事務局主幹	松本 博史					
会議に付した事件及び会議結果など									
発言者		会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。							
委員長	8番	松壽	9:58 開会 出席4人、欠席1人、調査期間1日 【総務部所管事務調査】						
委員長	8番	松壽	挨拶						
委員長	8番	松壽	議事2 その他 (2)選挙費用の公費負担条例について						
総務部長	浦山		口頭により概要報告 ・ 所管事務調査の概要について ・ 別海町議会議員…公費負担条例について						

## 令和3年第2回総務文教常任委員会 要点記録

総務部次長	佐々木	<p>口頭により概要報告</p> <p>①前回の委員会での内容説明について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 条例制定の背景について</li> <li>・ 条例の概要について</li> <li>・ 議案の上程予定時期について</li> <li>・ 議案の上程理由について</li> </ul>
教育部長	山田	<p>挨拶及び経過報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 別海高校の出願状況について</li> </ul>
委員長	8番 松壽	<p>議事1 所管事務調査について</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症対策について</p>
教育部長	山田	口頭により概要説明
学校教育課長	入倉	口頭により内容説明
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小中学校・幼稚園における卒業式及び入学式の予定及び感染症対策について</li> </ul>
教育部長	山田	(3) 北海道別海高等学校教育支援事業（通学バス助成事業）について
学務課主査	佐藤	口頭により概要説明
		資料により内容説明
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北海道別海高等学校教育支援事業について(通学バス助成事業)               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 保護者の一時的な負担の伴わない助成手続き</li> <li>2 定期券の購入が困難な保護者への助成</li> <li>3 その他</li> </ol> </li> </ul>
委員長	8番 松壽	質疑
委員長	8番 松壽	<p>① 現物支給の関係は、再三調査してきた。その中で、当初は、高校側との事務手続の負担がかかるということの説明であったため、常任委員会も高校の事務職員と意見交換をして調査をした。今回、新たに地域生活バスの補助金の減額の懸念が示されたが、私も地域生活バスの補助網羅を見たが、教育委員会も支払いはするが、何が課題があるか不明なので、課題を詳しくお示し願いたい。</p> <p>② 概算払いについては、もともと対象者が9名くらいしかない中での2名である。これは、ひとり親を含めて拡充は検討してほしいと思う。</p> <p>③ 最後のその他の説明で、「全額補助の必要性はない、自宅から通学する生徒にも予算が活用されるよう、補助金を学習費用等に当てていただきたい」との意見が出されたとされている。もともと、間口確保のために制度設計をしたのが教育委員会なのに、こういう理由がよくわからないので、全体の何%がこの意見なのか。</p> <p>③ ここで言っているのは、通学バス助成制度に関わらずいろいろな事業をやっているが、このことに限らずいろいろな意見が出ているので、そうした意見も参考にしながら検討していきたいということである。ご理解願いたい。</p>
教育部長	山田	<p>① 総務部防災交通課に確認しているが、実際乗車する方々の乗車料がなくなり、補助金の算定基礎に影響が出るので、要綱は確認していないが、防災交通課で根室交通などに確認している。</p>
学務課主査	佐藤	② ひとり親の部分の拡充で、今のところ考えている。
学務課長	宮本	③ 割合の説明がない。
委員	3番 田村	③ 詳細な割合は確認していない。こうした意見も踏まえて検討していきたい。
学務課長	宮本	① 運送収入に影響が出るとのことだが、所管として補助金の交付要綱を確認した上で説明してくれないと、私たちも調査できないから、確認してほしい。
委員	3番 田村	③ どのくらいの意見があるということを示さないで、こういう意見があったのでと説明されても、判断する側としては不本意である。そういう説明では納得ができない。ここで8種類のことを言っているとあるが、今回調査になっているのは通

## 令和3年第2回総務文教常任委員会 要点記録

	<p>学バスの助成事業であって、そういう説明では、私たちも調査のしようがない。</p> <p>③ ご指摘はご指摘としてお受けするが、資料の作りこみとして、「その他」のことは、所管として別海高校教育支援事業全体として毎年度見直しをしているということの説明であるので、ご理解願いたい。</p> <p>④ 高校側の事務の類雑さについても調べてきた、委員会の総意で質問して、それから1年経った。高校側の事務はわかったが、教育委員会の体制については2課に分けたが、その当たりの体制としてはどうだろう。</p> <p>① 課を分けても事務量の変化がない。</p> <p>① 自分たちから見ると、佐藤主査が担当していて、その事務量が多かったのではないかなというふうに見える。去年から今年の1年間でサポートするなど、配慮がなされて検討してきたのか。</p> <p>① 課内の事務体制は、平成27年度から制度が始まって、別海高校を含めて事務手続の見直しも課題になっていたの、見直しを行っている。担当者も人事異動で変わることがある。平成30年度から事務手続の簡素化も図っている。事務の負担が減るような対応をしている。</p> <p>① 北海道からの補助金が、どの程度減額されると見込んでいるか。わからないということだから、回答は出てこないだろうと理解した。マックスでも280万円減るといことで、そんなことはあり得ないだろうと思う。この程度だったらできるのではないだろうかとか、これを超えて減額されるとできないとか、そういうことは検討されているのか。教育委員会として、保護者から出ている要望に応えようとしているのか、そうした姿勢なのか確認したい。</p> <p>② 現在の対象からどのくらい増えるのか確認したい。</p> <p>③ アンケートにこう書いてあったからという言い方は、私もいかなものかと思う。いろんなことが出てきたら全部このような説明になるのか。田村委員が言ったように、半分以上の意見があるからというのはわかるが、1人が2人かわからないけど、このように意見が出てくるのは解せない。補助事業全体の問題だとしても、こういう説明ではなく、基本スタンスはこうだから、このアンケートの意見は重要だと思うという教育委員会の姿勢が必要。</p> <p>③ 表現の仕方が言葉足らずだったという点はお詫びしたい。決して、アンケートで聞いた少数意見を1つ1つ拾うというスタンスではない。アンケートは保護者、子供たちの正直な意見という部分があるので意見の数の大小だけでなく、その内容についても検討するものもあって、あくまでも参考にしながら、どういった助成制度が適正なのか、その都度確認していきたい。1つの意見に左右されるとか、そうした考えではない。</p> <p>① 調査中であり、教育委員会としても要綱の中身を確認しながら説明できるようにしたい。</p> <p>② 今現在のひとり親の人数を把握して、これから制度改正に向けて取り組んでいきたい。</p> <p>(4) まちなかの3館連携拠点と高校生が集う学習環境づくりについて</p> <p>口頭により概要説明</p> <p>資料により内容説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設予約サービスについて</li> <li>・生涯学習センターを核とする3館連携関係図</li> </ul> <p>質疑</p> <p>① 現在も公民館での申し込みが多くて、抽選や早いもの勝ちということはあると思うが、インターネットの手続きではどのような運用になるのか。</p> <p>② いつから運用するのか</p> <p>③ 多目的室を学習施設に兼用できるとのことだったが、どのようなことが予想されるのか。</p> <p>① 端末で予約状況を見ることができる。生涯学習センターがいっぱいなとき</p>
教育部長 山田	
副委員長 5番 外山	
教育部長 山田	
副委員長 5番 外山	
学務課主査 佐藤	
委員 13番 中村	
教育部長 山田	
学務課長 宮本	
委員長 8番 松壽	
教育部長 山田	
生涯学習課主査 上杉	
委員長 8番 松壽	
副委員長 5番 外山	
教育部次長 石川	

## 令和3年第2回総務文教常任委員会 要点記録

	<p>は、ぶらと、マルチメディア館の予約状況も閲覧できる、。ペーパーでの申し込み方法も継続していく。今までと違い複数の施設の空き状況を照会できるから、サービスは向上できると考えている。</p> <p>② オープンと同時に運用できるよう、足並みをそろえて準備している。事前の予約についてはこれまで通りの形で運用したい。</p> <p>③ 多目的研修室、多目的会議室に関してはいわゆる塾等でも利用を考えている。今後、どの程度の要望があるのか、町内、外の事業者の需要も確認しながら進めたい。</p> <p>③ 俗にいう営利目的の塾に貸し出すのか。</p> <p>③ 営利目的の者も含めて検討している。</p> <p>① 資料の図面でマルチメディア館のステージについて説明があったが、詳細を。</p> <p>② 予約施設の利便性が高まることは歓迎。お年を召した方で、利用がなかなか難しいという場合のサポートはどうなるのか。</p> <p>③ 一般質問などでも、議員側から塾の開設、支援などの意見も出ていて、議論が深まってきているのかなと思うが、1点だけ気になるのが、高校の先生方の考え方はどうなのか、そこら辺の意見交換は行われているのかを聞きたい。</p> <p>② 公民館の利用者は高齢者が多いため、予約システムによる申し込みは我々も懸念している。業者にも話しており、簡単に操作できるシステムの構築も考えている。また、電話、申請書の提出も考えている。また、サイネージと違って、催し物の展示もこれまで以上にやっていく。</p> <p>① 図面についてであるが、現行の図面である。点線で示されているのは、幕の状況を表現している。増床と言う部分については、ステージより前に出したいということを検討している。前列の1列を外し、迫りだしていくようなことも検討している。</p> <p>③ 読書や、自主的な勉強の意向を把握した上で平日の放課後、土曜日に部活動を行ったり、学校内で過ごしている。多くの内容が学校内で取りまわれるということは、負担の少ない形態だと考えており、高校生の学習の環境に関しては、3館の中で行うことは考えていない。一般質問にもあったように、高校の先生が進学をサポートするという取組も紹介している。</p> <p>③ 塾そのものの場所を提供する、あるいは、営利目的の業者も含めて、町としては、場所の提供も考えている。言わば、積極的に塾を導入するという方向で動いているということだとは思いますが、その点について、塾そのものを開設する、設置するということについて、高校と意見交換をしているかということを確認したい。</p> <p>③ 塾そのものの開設については、高校と協議を行っていない。</p> <p>③ 高校側も反対ということはないだろうが、設置する場合に高校教育側からいろいろな意見もあるのではないかなと思うので、ぜひ意見交換をやっていただきたいと思うがいかがか。</p> <p>③ 当然、営利目的も視野にということなので、どういった配置が学習に利用しやすいのかという部分の細かなことを決定していくことも、場合によっては、高校の意見を聴くこともある、そういったことも含めて検討していきたい。</p> <p>① 3館連携の構想は、生涯学習センターだけでは足りないもので、ぶらと、マルチメディア館も活用したい。こうした具体的なことについて、会議室だけでのことを含めて、検討を進めていだけでなく、指定管理もあるし、各課で連携していかないと。例えば、ぶらとだったら、改造して、商工会が2階に行くなど、まず、各館の運用について決めていかないと。まちづくり構想でも練っているから、早めに町全体としての施設の活用を決めていかないとまずいのではないかなと思う。</p> <p>① 早い段階で3館連携の組織を庁舎内で作っている。</p> <p>① ホワイエでその機能を持たせるといいながら、マルチメディア館の活用にも同じような記述がある。生涯学習センターにもインターネットの環境があり、マルチ</p>
生涯学習課主査 上杉	
副委員長 5番 外山	
生涯学習課主査 上杉	
委員 13番 中村	
委員 13番 中村	
教育部次長 石川	
生涯学習課主査 上杉	
委員 13番 中村	
生涯学習課主査 上杉	
委員 13番 中村	
生涯学習課主査 上杉	
教育部長 山田	
委員 3番 田村	
教育部次長 石川	
委員 3番 田村	

## 令和3年第2回総務文教常任委員会 要点記録

		メディア館にも機能を設けることも検討する。ホワイエがありながら、マルチメディア館にも空間を持たせるというのが、一貫性がない感じがする。まちづくり構想段階での文言だと思うのだが、実際にどのように運用するのか心配なので、確認したい。
教育部次長	石川	① ホワイエのイメージについては、特に目的がなくても談話するなどの憩いの場、室内での公園のような場をイメージしている。住民談話会でも話があったが中・高生が家庭学習をしたり、静かなところで本を読みたいという意見もあった。マルチメディア館については、そうした環境での部屋にしたいというイメージを我々は考えている。
委員	3番 田村	① 私も、一般質問の中で、ホワイエにこういう人が来たら邪魔になるとか、運用の支障を来さないのかなと思って質問したときの回答と、今日の説明に食い違いがあったのかなと思い、質疑をさせてもらった。市街地に施設を集約して、皆さんが訪れやすくするというのが原点なので、しっかりやっていただきたい。
		議事2 その他
教育部長	山田	(1) 児童におけるメディアコントロールの取組について 口頭により概要報告 資料により概要報告 ・令和2年度メディアコントロールweek集計結果
委員長	8番 松壽	質疑なし
委員長	8番 松壽	(2) その他 特になし
委員長	8番 松壽	閉会挨拶
委員長	8番 松壽	11:30 閉会